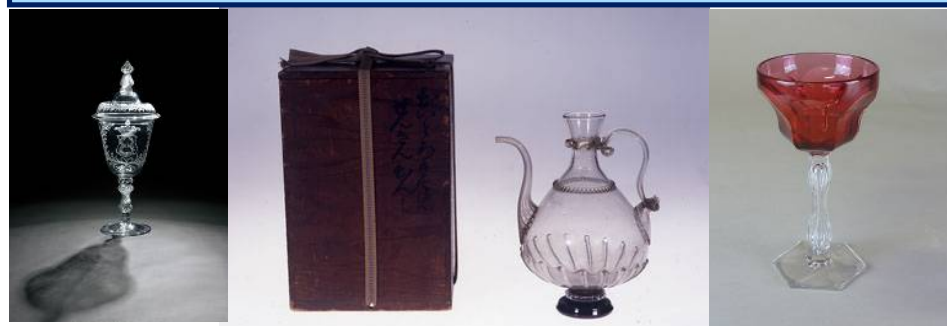


神戸市立博物館「特別展 ギヤマン展—あこがれの輸入ガラスと日本」

平成 26 年 7 月 5 日（土曜日）～9 月 15 日（月曜日・祝日）



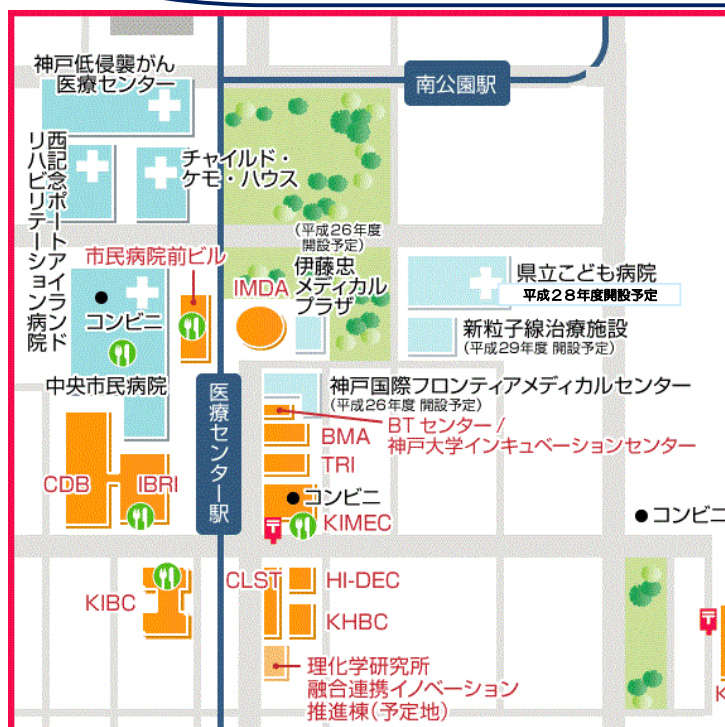
桃山から江戸時代にかけて輸入されたガラス—ギヤマンに焦点を当てた日本初の展覧会です。輸入ギヤマンと共に、上方、江戸、薩摩でつくられた和製ギヤマンも展示されます。

～切らない がん治療について～

神戸医療産業都市プロジェクトでは、3つの分野（バイオ、メディカル、シミュレーション）の融合により、研究・開発から治療までを一気に進められる体制作りが進められています。バイオクラスターは、iPS細胞等による再生医療の実用化など、シミュレーション・クラスターは、スパコン「京」の供用開始や関連大学等の誘致などですが、もうひとつの柱・メディカル・クラスターとして、高度専門医療機関の集積・医療機器の事業化促進にも取り組まれています。

下図のとおり、ポートアイランドでは、平成28年度開設予定の県立こども病院をはじめ、高度医療を行う病院の集積が進んでいるところです。昨年には、「神戸低侵襲がん医療センター」、「西記念ポートアイランドリハビリテーション病院」、「チャイルドケモハウス」と、専門病院・専門施設が続けて開設され、更に、こども病院に隣接して「新粒子線治療施設」の設置が計画されているところです。

今回は、「神戸低侵襲がん医療センター」の開設などでメディカルクラスターのエリアに、がんを切らずに治療する放射線治療装置が増えたことなどから、「切らないがん治療」に着目し、特集してみたいと思います。



がん治療に関連したメディカルクラスター診療科（手術除く）

○中央市民病院

- ・腫瘍内科
- ・血液内科
- ・放射線治療科

○先端医療センター病院

- ・総合腫瘍科
- ・細胞治療科
- ・放射線治療科

○神戸低侵襲がん治療センター

- ・腫瘍内科
- ・放射線治療科
- ・放射線科

○チャイルド・ケモ・ハウス

- ＜小児がんの子どもと家族のための滞在型施設＞
- ・小児がん治療を行うチャイルド・ケモ・クリニック併設

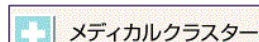
○県立こども病院（H28年度開設予定）

現在の須磨区にあるこども病院が移転

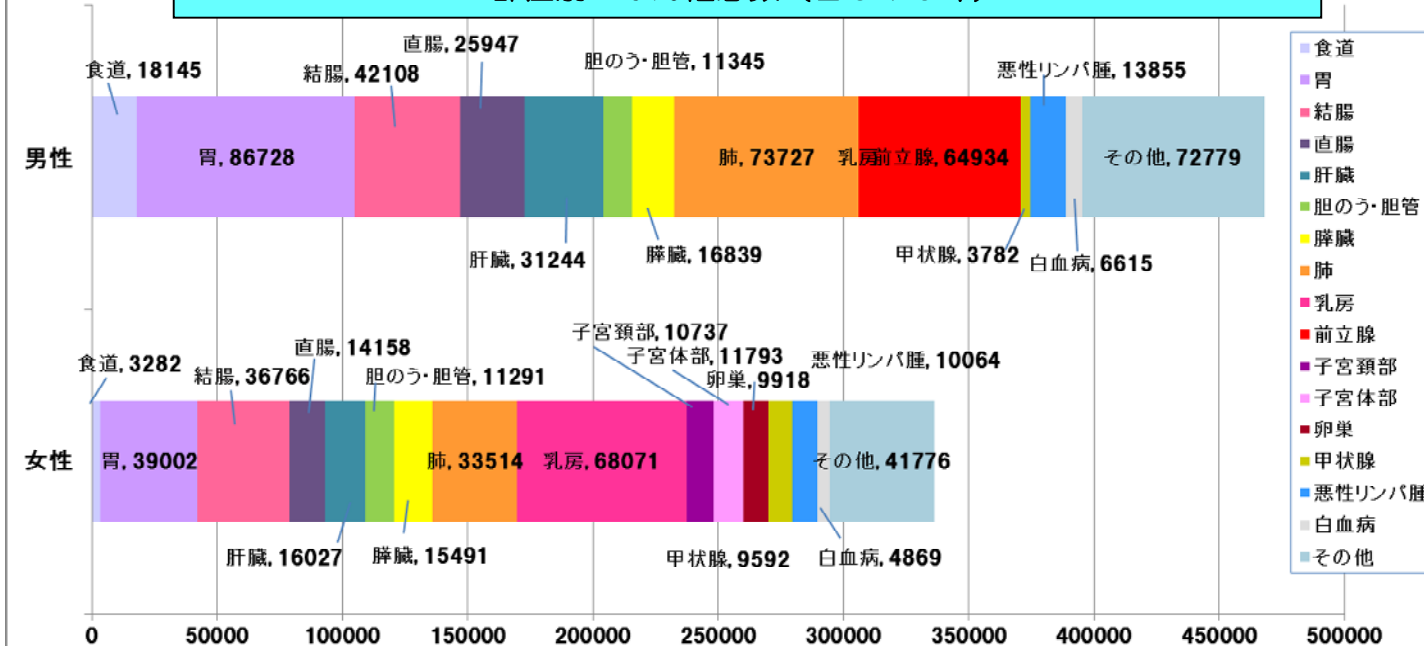
○新粒子線治療施設（H29年度開設予定で計画中）

こども病院と連携した施設。陽子線治療を行う予定。

神戸医療産業都市・メディカルクラスターマップ



部位別 がん罹患数（2010年）



現在日本人は、一生のうちに、**2人に1人は何らかのがんにかかる**といわれています。がんは、全ての人にとって身近な病気です。がんは、「なりにくくする（予防する）」ことができても、「ならないようにする」ことはできません。人間の体は、多くの細胞からできています。体には、**傷ついた遺伝子を修復したり、異常な細胞の増殖を抑えたり、取り除く仕組み**があります。しかし、異常な細胞が監視の目をすり抜け、無制限にふえて別の部位に転移するなどして、体を弱らせてしまうことがあります。それが、がんという病気です。

がんの治療方法は、（1）手術と（2）薬物療法（抗がん剤治療）と（3）放射線治療の3つがあります。

がんの種類にもよりますが、いくつかを組み合わせで行うのが基本です。

（1）手術・・・がんを外科的に切除します。

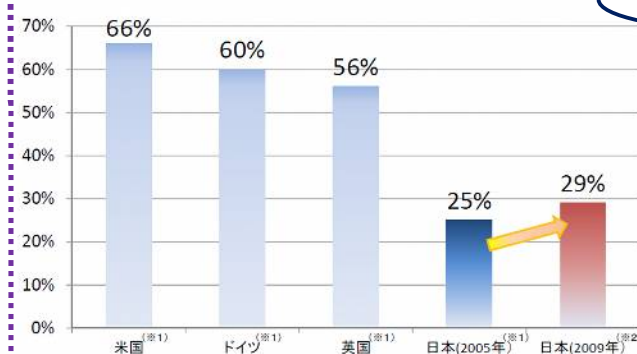
（2）薬物療法（抗がん剤治療）

化学療法、ホルモン療法（内分泌療法）、分子標的治療、分化誘導療法などが含まれます。薬物を使ってがん細胞の増殖を抑える治療です。通常、抗がん剤は、飲み薬や点滴・注射によって投与します。腕などの細い血管に針を刺すこともあります。首の太い血管（中心静脈）にカテーテルと呼ばれる細い管を通して薬を入れたり、ポートという装置を皮膚の下に埋め込んで、必要なときに薬を入れることもあります。また、がんがある臓器に直接薬を投与することもあります。

（3）放射線治療

放射線を照射することによって、がん細胞の増殖を抑えます。放射線治療の利点は、手術で体に傷を付けることなく、がんを小さくする効果を期待できることですが、がんの種類によって放射線治療の効きやすさや治りやすさは大きく異なります。

がん患者のうち放射線治療（併用も含む）を実施している患者割合



※1 第3回がん対策推進協議会資料(2007年5月9日)より
※2 地域がん登録全国推計(2005)及び日本放射線治療学会2009年構造調査より作成

左の図は、がん患者のうち、放射線治療を実施している患者の割合です。アメリカ66%、ドイツ60%、英国56%に比べ、2009年時点で29%と、日本では放射線治療がまだまだ普及していないことがわかります。

がん細胞への放射線的作用

がんは細胞の遺伝子に変化が起こることにより無限に増殖しますが、放射線はがんの遺伝子（DNA）を破壊します。放射線の通道の正常細胞も少しダメージを受けますが、がん細胞では分裂・増殖力が強くなるのと同時に遺伝子の修復力が低下しているため、放射線的作用を正常細胞よりも強く受けます。これが放射線でがん細胞が消滅する原理です。

〒655-0034 神戸市垂水区仲田 3-1-8-202
（垂水支部） 神戸市会議員 川原田弘子事務所
TEL&FAX 078-709-8998
e-mail ; happy@hiroko-club.com
URL ; <http://www.hiroko-club.com>

ご相談はこちらに

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
民主こうべ政策議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161